

## ノアザミ（キク科）

### 観察のポイント

花の下がベタベタしてるのがとくちょうです。晴れた日に花の上をそっと指でさわってみて。ほら、白い花粉が出てきたよ。虫がやって来たとカン違いしたんだね。

## キバナノヤマオダマキ(キンポウゲ科)

### 観察のポイント

花の上のにびる部分を距(きょ)といいます。この中に昆虫をよびよせるミツが入っています。下から花をのぞくと見えるあなの奥がきよになります。ずいぶん長いくだがないとミツがすえませんね。どんな虫が来るのかな？

## コアジサイ（ユキノシタ科）

### 観察のポイント

うすぐらい森の中にいちめん咲いている光景に出会ったりします。アジサイの仲間ですが、飾りの花はありません。この花に出会ったらぜひ鼻を近づけてにおいをかいでみてください。さわやかないいにおいがしますよ。

## ニガナ（キク科）

### 観察のポイント

葉や茎から苦味のある白い乳液が出ます。タンポポと同じように日が当たらないと花はとじてしまいます。山の草むらによく見かけます。

## イブクジャコウソウ（シソ科）

### 観察のポイント

この花を見つけたら手で触ってみて。どんなにおいがするかな。料理に使うハーブのタイムはこの花の近いなかまです。

## ニッコウキスゲ（ユリ科）

### 観察のポイント

夏の高原を代表する花です。日光や尾瀬などで黄色いじゆたんのようにさく景色をテレビや写真で一度は見たことがあるのではありませんか。鼻戸屋付近にはチラホラ見かけます。

## ヤマアジサイ（ユキノシタ科）

### 観察のポイント

山の沢ぞいなど湿り気のあるところにさきます。花のように見える大きなはなびらは実は飾りの花で、本当の花は真ん中の小さなツブツブです。花のちがいを見てみましょう。

## エゾカワラナデシコ（ナデシコ科）

### 観察のポイント

園芸種のカーネーションと似ていますが、仲間は近いけれど別の種類です。八ヶ岳で見られるのはほとんどがエゾカワラナデシコです。カワラナデシコは八ヶ岳より暖かいところにさきます。エゾカワラナデシコは少しガクが短く、花びらの切れ込みが少ないです。



キバナノヤマオダマキ  
キバナノヤマオダマキ(キンポウゲ科)



ノアザミ  
ノアザミ (キク科)



ニガナ  
ニガナ (キク科)



コアジサイ  
コアジサイ (ユキノシタ科)



ニッコウキスゲ  
ニッコウキスゲ (ユリ科)



イブキジャコウソウ  
イブキジャコウソウ (シソ科)



エゾカワラナデシコ  
エゾカワラナデシコ (ナデシコ科)



ヤマアジサイ  
ヤマアジサイ (ユキノシタ科)